

第10課

類義語の漢字

復習

I. 次の語と意味が最も近いものを選びなさい。

1. 図 : a. 色 b. 絵 c. 形
2. 晩 : a. 朝 b. 昼 c. 夜
3. 乏しい : a. 小さい b. 悲しい c. 少ない
4. 暑い : a. 暖かい b. 濃い c. 涼しい
5. 等しい : a. 同じだ b. 貧しい c. 危ない
6. 定める : a. 決める b. 進める c. 集める
7. 争う : a. 勝つ b. 求める c. 戦う
8. 異なる : a. 変わる b. 違う c. 似る
9. 敗れる : a. 失う b. 助ける c. 負ける
10. 勤める : a. 通う b. 働く c. 学ぶ

II. 次の文を読んで、a. と b. のうちから適当なほうを選びなさい。

1. 農村では、年寄りが多く (a. 新しい b. 若い) 人が少ない。
2. 食後に (a. 寒い b. 冷たい) ジュースを飲んだ。
3. せきが出て (a. 悲しい b. 苦しい) ので、病院へ行った。
4. このお茶は (a. 濃くて b. 強くて)、苦い。
5. 機械がこわれたので、(a. 改めて b. 直して) もらった。
6. 買ったばかりの茶わんを (a. 切って b. 割って) しまった。
7. 数学の問題を (a. 思った b. 考えた) が、できなかった。
8. 父は (a. 寝 b. 眠り) ながら本を読んでいた。
9. 植物を (a. 育てて b. 養って) 花を咲かせる。
10. 試験に受かり、入学が (a. 確かめられた b. 認められた)。

< 答 え >

I.

- | | |
|--------------------------------|--------------------------|
| 1. b. 絵 (え) picture | 図 (ず) drawing, figure |
| 2. c. 夜 (よる) night | 晩 (ばん) evening |
| 3. c. 少 (すく) ない few | 乏 (とぼ) しい scarce |
| 4. a. 暖 (あたた) かい warm | 暑 (あつ) い hot |
| 5. a. 同 (おな) じだ same | 等 (ひと) しい equal |
| 6. a. 決 (き) める to decide | 定 (さだ) める to establish |
| 7. c. 戦 (たたか) う to fight | 争 (あらそ) う to fight |
| 8. b. 違 (ちが) う to be different | 異 (こと) なる to differ |
| 9. c. 負 (ま) ける to be defeated | 敗 (やぶ) れる to be defeated |
| 10. b. 働 (はたら) く to work | 勤 (つと) める to work for |

II.

- | | |
|---|---------------------------------------|
| 1. b. 若 (わか) い人
young men | 新 (あた) ら しい
new |
| 2. b. 冷 (つめ) たいジュース
cold/chilled juice | 寒 (さむ) い
cold, chilly (weather) |
| 3. b. 苦 (くる) しい
painful, difficult | 悲 (かな) しい
sad, miserable |
| 4. a. 濃 (こ) くて
濃い strong (tea), dense | 強 (つよ) くて
強い strong |
| 5. b. 直 (なお) して
直す to correct, to repair | 改 (あらた) めて
改める to renew, to change |
| 6. b. 割 (わ) って
割る to break (into pieces) | 切 (き) って
切る to cut |
| 7. b. 考 (かんが) えた
考える to think, to meditate | 思 (おも) った
思う to think |
| 8. a. 寝 (ね) ながら
寝る to lie down, to sleep | 眠 (ねむ) りながら
眠る to sleep |
| 9. a. 育 (そだ) てて
育てる to raise, to bring up | 養 (やしな) って
養う to bring up |
| 10. b. 認 (みと) められた
認める to admit, to accept | 確 (たし) かめられた
確かめる to make sure |

基本練習

I. 次の文で下線の語の代わりに使える語を a. ~ c. から選び、その読みを書きなさい。

1. 田中さんの欠点は、人の話をよく聞かないところだ。
a. 弱点 b. 短所 c. 汚点
2. 食事の用意ができたので、食堂に集まってください。
a. 注意 b. 準備 c. 用事
3. 面接を行う順序を決めなければならない。
a. 順番 b. 番号 c. 順位
4. 最近、石油の値段が上がっていて、心配だ。
a. 価格 b. 数値 c. 物価
5. 時間に遅れたことの言い訳は、しないほうがよい。
a. 弁解 b. 申し訳 c. 理由
6. 経済について基本から勉強しなければならない。
a. 基礎 b. 基地 c. 基準
7. これまでの習慣を見直し、経営の合理化を図らなければならない。
a. 習性 b. 慣例 c. 風習
8. 日米間の問題について、政治家がテレビ番組で討論した。
a. 会議 b. 議論 c. 論理
9. 学生時代から全然本を読まないせいか、あまり教養がない。
a. 教育 b. 知識 c. 養育
10. 今の会社を辞職することを決意した。
a. 意図 b. 意志 c. 決心
11. 火事になったビルの中に取り残されていた人を消防士が救助した。
a. 援助 b. 応援 c. 救出
12. この文章は少しおかしいので、修正しなければならない。
a. 修理 b. 改訂 c. 訂正

- Ⅱ. 次の文を読んで、()に入れるのに最も適当なものを a.～c. から選びなさい。
1. 来週の木村先生の () は休講になったそうだ。
a. 講演 b. 講義 c. 演説
 2. 彼は () が強く、やると決めたことは最後まであきらめない。
a. 意志 b. 意思 c. 意図
 3. 食品会社で新しい商品が () されている。
a. 企画 b. 計算 c. 計略
 4. 鉄道の開通により、町は () し、人口も増加した。
a. 進歩 b. 発達 c. 発展
 5. その事故の () は、運転手の不注意だった。
a. 結果 b. 原因 c. 理由
 6. 政治に金がかかりすぎるという () 的問題を解決しない限り、政治改革は成功しないだろう。
a. 基礎 b. 基本 c. 根本
 7. 父は60歳で定年になり、長年勤めた会社を () した。
a. 辞職 b. 失業 c. 退職
 8. 今日のサッカーの試合は時間通り4時に () した。
a. 完了 b. 終了 c. 終結
 9. あの2人は考え方が正反対で、全く () 的だ。
a. 対称^{たいしやう} b. 対照 c. 対比
 10. 時計を () して、部品を取り替えた。
a. 分解 b. 分割 c. 分離
 11. この学校では情報工学関係の技術者^{ぎじゆつしゃ}を () している。
a. 保育 b. 養育 c. 養成
 12. 雨のため、運動会は来週の日曜に () されることになった。
a. 延期 b. 延長 c. 遅延

要点

①類義語の漢字

意味が似ていることばを類義語（るいぎご）と言います。類義語には、意味が似ている漢字が使われている場合が多くあります。

値一価	値段（ねだん）	—	価格（かかく）
企一計	企画（きかく）	—	計画（けいかく）
完一終	完了（かんりょう）	—	終了（しゅうりょう）
基一根	基本（きほん）	—	根本（こんぽん）
育一養	育成（いくせい）	—	養成（ようせい）
到一達	到着（とうちゃく）	—	到達（とうたつ）
助一援一救	救助（きゅうじょ）	—	援助（えんじょ）— 救援（きゅうえん）

②類義の漢語

意味が似ている漢語には、共通の漢字を使うものもたくさんあります。

意イ	: 意思（いし）	意志（いし）	意図（いと）
延エン	: 延期（えんき）	延長（えんちょう）	遅延（ちえん）
革カク	: 変革（へんかく）	改革（かいかく）	革命（かくめい）
慣カン	: 習慣（しゅうかん）	慣例（かんれい）	慣習（かんしゅう）
基キ	: 基本（きほん）	基礎（きそ）	
区ク	: 区分（くぶん）	区別（くべつ）	
決ケツ	: 決意（けつい）	決心（けっしん）	決定（けつてい）
講コウ	: 講演（こうえん）	講義（こうぎ）	講習（こうしゅう）
順ジュン	: 順番（じゅんばん）	順序（じゅんじょ）	順位（じゅんい）
対タイ	: 対照（たいしょう）	対称（たいしょう）	対比（たいひ）
点テン	: 欠点（けってん）	弱点（じゃくてん）	難点（なんてん）
展テン	: 発展（はってん）	進展（しんてん）	展開（てんかい）
討トウ	: 討論（とうろん）	討議（とうぎ）	検討（けんとう）
発ハツ	: 発展（はってん）	発達（はったつ）	開発（かいはつ）
分ブン	: 分割（ぶんかつ）	分離（ぶんり）	分解（ぶんかい）
弁ベン	: 弁護（べんご）	弁解（べんかい）	弁明（べんめい）
了リョウ	: 終了（しゅうりょう）	完了（かんりょう）	修了（しゅうりょう）
論ロン	: 討論（とうろん）	議論（ぎろん）	論争（ろんそう）

③意味が似ている接辞

(⇒第6課p.112)

a. お金の接尾辞

料—費—代—賃 授業料 (じゅぎょうりょう) — 学費 (がくひ)
賃貸料 (ちんたいりょう) — 住居費 (じゅうきよひ)
部屋代 (へやだい) — 家賃 (やちん)

b. 仕事・職業の接尾辞

者—師 医者 (いしゃ) — 医師 (いし)
手—士 運転手 (うんてんしゅ) — 運転士 (うんてんし)
員—人 公務員 (こうむいん) — 役人 (やくにん)
屋—店—業 本屋 (ほんや) — 書店 (しょてん) — 出版業 (しゅっぱんぎょう)

c. 場所の接尾辞

室—所 事務室 (じむしつ) — 事務所 (じむしょ)
室—院 美容室 (びようしつ) — 美容院 (びよういん)
室—館 図書室 (としょしつ) — 図書館 (としょかん)

d. 否定の接頭辞

非—無 非常識 (ひじょうしき) — 無教養 (むきょうよう)
不—未 不確実 (ふかくじつ) — 未確認 (みかくにん)

④類義語の使い分け

主語や目的語、修飾語の内容によって、似ている意味の語でも使える場合と使えない場合があります。(⇒第3課p.49～p.51)

完了(かんりょう)する …：仕事や任務がおわる／をおえる
終了(しゅうりょう)する …：試合や時間が／をおわる
修了(しゅうりょう)する …：教育の課程が／をおわる
終結(しゅうけつ)する …：戦争や事件がおわる
発達(はったつ)する …：科学や技術が先へすすむ
進歩(しんぽ)する …：科学や技術／社会が先へすすむ
発展(はってん)する …：社会がすすんで広がる
企画(きかく)する …：会社などの団体が新しいことをすることを考える
計画(けいかく)する …：個人や会社、団体が何かをすることを考える
改革(かいかく)する …：組織や制度をかえる
変革(へんかく)する …：社会や制度をかえる
改良(かいらいりょう)する …：品質をよくする

習慣(しゅうかん)	…：毎日人がやるときまっていること
慣例(かんれい)	…：仕事上や儀式上、やるときまっていること
慣習(かんしゅう)	…：社会でやるときまっていること
風習(ふうしゅう)	…：その地方や土地でやるときまっていること
習性(しゅうせい)	…：動物などがもっているきまった性質
組織(そしき)	…：社会や団体、生物体のしくみ
構成(こうせい)	…：社会や団体、文章のしくみ
構造(こうぞう)	…：社会や組織、機械のしくみ

⑤類義語の文法的用法

意味が似ていても文法的な用法が違うものがあります。

a. 名詞とスル動詞

意思(いし)	N	意思を変える。意思が通じる。
意志(いし)	N	自分の意志で決める。意志が固い。
意図(いと)	N, V N	意図を知る。事業拡大を意図する。
申し訳(もうしわけ)	N	申し訳がない。申し訳が立たない。
言い訳(いいわけ)	N, V N	言い訳を考える。言い訳する。
弁解(べんかい)	N, V N	弁解の余地がない。弁解する。
構造(こうぞう)	N	機械の構造が分からない。
構成(こうせい)	N, V N	文章の構成がおかしい。会を構成する。
組織(そしき)	N, V N	組織が大きい。会社を組織する。
革命(かくめい)	N	革命が起こり、共和制になった。
改革(かいかく)	N, V N	政治の改革は難しい。行政を改革する。
変革(へんかく)	N, V N	制度の変革が望まれる。社会を変革する。
改良(かいりょう)	N, V N	品質の改良を図る。製品を改良した。
計略(けいりゃく)	N	企業を乗っ取る計略をめぐらす。
計画(けいかく)	N, V N	旅行の計画を立てる。事業を計画する。
企画(きかく)	N, V N	新商品の企画を立てる。番組を企画する。
仕度(したく)	N, V N	食事の仕度をする。
用意(ようい)	N, V N	旅行の用意をする。お金を用意する。
準備(じゅんび)	N, V N	講演会の準備をする。ドルを準備する。

b. スル動詞…いっしょに使う助詞が違う

(目標)を	達成(たっせい)スル	売り上げ目標を達成する。
(ものごと)に／が	成功(せいこう)スル	実験に／が成功した。
(目標、目的地)に	到達(とうたつ)スル	収入が1億円 <small>おく</small> に到達する。
(場所)へ／に	到着(とうちゃく)スル	飛行機が成田に到着した。
～を／～ようと	決意(けつい)スル	結婚を決意した。
～を／～ようと	決心(けっしん)スル	お酒をやめようと決心した。
～を／が	決定(けつてい)スル	集合時間が／を決定した。
AとBを／AをBと	区別(くべつ)スル	男と女を区別する。
AとBを／AをBと	分別(ぶんべつ)スル	新聞と雑誌を分別する。
AをBとCに	区分(くぶん)スル	住宅地と商業地に区分する。

c. その他

熱意(ねつい) N	研究に対する熱意がある。
(仕事)に 熱心(ねっしん)ナ	木村先生は熱心な先生だ。
(物事)に 熱中(ねっちゅう)スル	テレビに熱中する。
(物事)に 夢中(むちゅう)ダ／ニナル	ゲームに夢中になる。
順序(じゅんじょ)N／順序よく	順序が乱れる。順序よく並ぶ。
順番(じゅんばん)N／順番に	順番が来る。順番に歌を歌う。
順位(じゅんい)N	順位を決める。
番 (ばん)N	今度は私の番だ。
理由(りゆう)N	欠席の理由は不明だ。
原因(げんいん)N	事故の原因を調べる。
	不注意が原因で事故が起こる。
～と～を 対照(たいしょう)スル／サセル	英文と日本文を対照する。
対照的ナ	2人は性格が対照的だ。
～と～を 対比(たいひ)スル／サセル	理想と現実を対比させる。
～と～を 比較(ひかく)スル	都市と農村を比較する。
比較的 Adv.	ここは物価が比較的安い。

⑥場面による使い分け

日常的な話題のときによく使うもの(a)と、やや改まった場合や文章の中でよく使うもの(b)とがあります。

- | | |
|------------|---------------|
| a. 値段(ねだん) | 石油の値段が上がった。 |
| b. 価格(かかく) | 石油の価格が変動している。 |

- a. 仕度 (したく) 出かける仕度ができた。
- a. 用意 (ようい) 使うものは全部用意した。
- b. 準備 (じゅんび) 彼の研究発表は準備が不足していた。

- a. 様子 (ようす) 彼は元気そうな様子だった。
- b. 状況 (じょうきょう) 内戦の状況を報告する。
- b. 状態 (じょうたい) 病人は危険な状態である。

⑦使い分けの難しい類義語

- 欠点(けってん) …不足しているところ、わるいところ
- 弱点(じゃくてん) …せめられると弱いところ
- 短所(たんしょ) …性質や性能でおとっているところ
- 難点(なんてん) …問題になるわるいところ

- 基本(きほん) …中心となる不変のもの
- 基礎(きそ) …最初の段階
- 根本(こんぽん) …ものごとを成立させるおおもと

- 方向(ほうこう) …ある地点から運動の進行する向き
- 方角(ほうがく) …ある地点を基準にした東西南北の方位
- 方面(ほうめん) …ある方向の地域ちいき／ある分野

- 改革(かいかく) V N …制度や組織の悪い部分をよくすること
- 変革(へんかく) V N …社会や制度を大きく変えること
- 革命(かくめい) …根本から急激に大きく変わること

- 議論(ぎろん) V N …意見を出して、論じ合うこと／論じた内容
- 論議(ろんぎ) V N …限定的な問題について、答えを求めて、論じ合うこと
- 討論(とうろん) V N …問題を研究する会などで、意見を出し、論じ合うこと
- 論争(ろんそう) V N …違う主張をして、論じ争うこと

⑧同音の類義語

同じ音で、しかも意味が似ているために、使い分けが難しいものがあります。
(⇒第5課 p.80)

- | | | |
|--------|---------------------------|--------------------------------|
| いし | 意思…考えや思い intention | 意思を表示する。 |
| | 意志…しようとする強い気持ち will | 意志が強い。 |
| | 遺志…死んだ後に残す考え last wishes | 遺志を重んじる。 |
| しゅうりょう | 終了…試合や時間が終わる V N end | 映画が終了する。 |
| | 修了…コースが終わる V N completion | 修士課程 <small>かてい</small> を修了する。 |

たいしょう	対照…比べること V N contrast	A と B を対照する。
	対象…目的のもの object	女性を調査の対象にする。
	対称…つりあうこと symmetry	左右対称の位置に置く。
ほしょう	保証…うけあう V N guarantee	品質を保証する。
	保障…災害から守る V N security	安全を保障する。
	補償…損害をつぐなう V N compensation	損害を補償する。

第10課の学習漢字

志	申	訳	弁	講	礎	根	討	企	略	
p. 312	p. 300	p. 271	p. 292	p. 271	p. 264	p. 259	p. 270	p. 291	p. 263	
因	慣	例	達	展	識	順	序	段	照	20
p. 325	p. 251	p. 245	p. 327	p. 323	p. 271	p. 288	p. 322	p. 284	p. 315	



応用練習

I. 次の文を読んで、()に入れるのに最も適当なものを下から選んで、書き入れましょう。また、各語の読みも書いてみましょう。

1. 両国間の交^{こうしやう}渉には、なかなか()が見られなかった。

[発展 進展 展開 展示]

2. 彼女の英語はどんどん()し、英字新聞まで読めるようになった。

[到達 発達 上達 達成]

3. 話に()して、ご飯を食べるのを忘れてしまった。

[熱意 熱心 熱中 夢^{むちゆう}中]

4. この地^{ちいき}域は住宅地、商業地、農業地などに細かく()されている。

[区分 区別 分別 分離]

5. 日本の米は、長年の品^{ひんしゆ}種()の結果、おいしくなった。

[改革 改良 革^{かくめい}命 変革]

6. 妹は、法科大学院を出て、()士になった。

[弁明 弁解 弁護 弁論]

7. 私は毎朝、公園の周りをジョギングする()がある。

[慣習 慣例 習慣 風習]

8. 税制の改革をテーマに()会が開かれた。

[議論 討論 論議 論争]

Ⅱ. 次の文を読んで、下線部分に漢字を書きましょう。また、その語の代わりに使える語を右の()に書いてみましょう。

例. 準備ができたなら、さっそく出かけよう。
じゅんび (仕度、用意)

1. 人間はだれでも _____ と長所を持っている
たんしょ ()

2. 今月は、売上げの倍増という _____ ^{もくひょう}目標を立てた。
とうたつ ()

3. 5時間かけて _____ したが、結局、この _____ は通らなかった。
とうぎ () きかく ()

4. この研究会は、高校の先生たちで _____ されている。
そしき ()

5. _____ を身につけるため、その _____ 会に行くことにした。
きょうよう () こうしゅう ()

6. 大橋さんは、宿題を忘れたことについて _____ した。
べんかい ()

7. 土地の _____ は下がっているというが、諸外国と比べるとまだまだ高い。
ねだん ()

8. どんなことを勉強するにも、 _____ が大切だ。
きそ ()

9. 原文と _____ してみて、^{ほんやく}翻訳の間違ひがあることがわかった。
たいしょう ()

10. 社会が _____ しても、古くからある良い _____ は残したい。
はってん () しゅうかん ()

Ⅲ. a. と b. の () の中に同じ漢字を入れて、類義語を作りましょう。

1. この試験に合格するには、 $\left\{ \begin{array}{l} \text{a. () 本的} \\ \text{b. () 礎的} \end{array} \right\}$ な知識が必要だ。
2. 会議では激しい $\left\{ \begin{array}{l} \text{a. 議 ()} \\ \text{b. 討 ()} \end{array} \right\}$ が行われたが、結論は出なかった。
3. 優勝戦で負けたのは、主力選手のけがに $\left\{ \begin{array}{l} \text{a. 原 ()} \\ \text{b. 起 ()} \end{array} \right\}$ がある。
4. 国の行政機構を $\left\{ \begin{array}{l} \text{a. 改 ()} \\ \text{b. 変 ()} \end{array} \right\}$ しなければ、赤字は減らない。
5. 大学をやめて、国へ帰るといふ彼の $\left\{ \begin{array}{l} \text{a. () 意} \\ \text{b. () 心} \end{array} \right\}$ は固かった。
6. 面接試験の $\left\{ \begin{array}{l} \text{a. () 序} \\ \text{b. () 番} \end{array} \right\}$ が発表になった。
7. 社会には、ある一定の $\left\{ \begin{array}{l} \text{a. 秩 ()} \\ \text{b. () 列} \end{array} \right\}$ があるものだ。
8. 国連による難民の $\left\{ \begin{array}{l} \text{a. () 援} \\ \text{b. () 助} \end{array} \right\}$ 活動が続いている。
9. この土地に来た以上、ここの $\left\{ \begin{array}{l} \text{a. () 習} \\ \text{b. () 例} \end{array} \right\}$ を重んじてもらいたい。
10. 新しい事業を行うことが $\left\{ \begin{array}{l} \text{a. 企 ()} \\ \text{b. 計 ()} \end{array} \right\}$ されている。
11. 木村先生の $\left\{ \begin{array}{l} \text{a. () 演} \\ \text{b. () 義} \end{array} \right\}$ は、先生が病気のため、中止になった。
12. 人に笑われないように、もっと $\left\{ \begin{array}{l} \text{a. 常 ()} \\ \text{b. 知 ()} \end{array} \right\}$ を身につけたほうがよい。
13. 彼は医学部に入って医者になることを $\left\{ \begin{array}{l} \text{a. 志 ()} \\ \text{b. 希 ()} \end{array} \right\}$ している。
14. 金のためなら、どんな $\left\{ \begin{array}{l} \text{a. 計 ()} \\ \text{b. 策 ()} \end{array} \right\}$ でも用いる相手だ。

I. 類義語の使い分けを知るために、次のような表を作ってみましょう。○はその文脈 (context) で使えるもの、×は使えないものです。

例	会社を ～する	<small>いいん</small> 委員／役員を ～する	会社が倒産 して～する	定年～ する	<small>ないかく</small> 内閣が 総～する
失業	×	×	○	×	×
辞任	×	○	×	×	×
辞職	○	×	×	×	○
退職	○	×	×	○	×

下の表の空いている欄に、上の例のように自分で使い分けのための文型を書き、○か×でうめてみましょう。

例	ゲームに ～する	教育に ～な先生	～がある ～を持つ		
熱意					
熱心					
熱中					
<small>むちゅう</small> 夢中					

※辞書を引いたり、先生や友だちに聞いたりして、自分でもノートに類義語の表を作ってみましょう。

- Ⅱ. 次の文章は、毎日新聞(1992年)の記事の一部です。未習の漢字が使われているところは■にしてあります。■があってもどのぐらい意味がわかるものか、読んでみましょう。まず、Aを読んでから、次にBを読んでみてください。Aでは基本漢字500字以外の漢字を■に、Bでは本書の第10課までに学習した漢字以外を■にしてあります。理解の程度がどのぐらい変わるでしょうか。

A

国■理■—日本からの主■

日本人は「NOと言えない」ということが時々話題になる。国■的な交流の場で日本人が「NO」と言うべきときに「NO」と言わないことが問題の発■のようだ。

日本人も「NO」と言えるようになるべきだという意見を■べる人が多いが、ことからはそれほど簡単ではない。

英語の「NO」に近い日本語のことばに「いいえ」という語がある。英語の初歩の学習■階では、「NO」に「いいえ」をあてはめて考えることも多いので両者は同じ意味の語だと思っている人も少なくない。

しかし、「NO」と「いいえ」の用法をくらべてみるとかなりの■が■■することがわかってくる。日本語の「いいえ」では、話し相手への配■が用法に制約を■えていることが多い。

相手の意■や■■、たとえばこちらへの■いかけに対して、「いいえ私はしたくありません」と■ずることが困難である場合は多い。「NO」と「いいえ」は決して同じではない。

「NO」を使うのは英語の場面である。英語の土■にあがって「NO」を■使することは、「いいえ」の発■を■本に持つ日本人にとっては当■不利をもたらす。

もちろん、英語的な表現法に■■した人■を作り出すことは不■■ではない。合理的で目的主■に■した教育・■練はそれを■■にする。

しかし、現■の国■交流は、一部の特別の人たちにゆだねて成り立つ時代ではなくなりつつある。大げさに言えば、すべての日本人が外国人との交流に■■を持たねばならなくなっている。

すべての日本人が「いいえ」の発■と同時に「NO」の発■をも■得・■持することは■■なことではない。

基本漢字以外の漢字(■)はこの文章中、32語に使われており、これは文章中の全漢字語(82語)の約40%に当たります。つまり基本漢字500字で、この文章の60%の漢字語は読めるということです。

では、第10課までに学習した220字を加えると、どうなるでしょうか。

B

国際理解—日本からの主張

日本人は「NOと言えない」ということが時々話題になる。国際的な交流の場で日本人が「NO」と言うべきときに「NO」と言わないことが問題の発^発のようだ。

日本人も「NO」と言えるようになるべきだという意見を[■]べる人が多いが、ことがらはそれほど簡単ではない。

英語の「NO」に近い日本語のことばに「いいえ」という語がある。英語の初歩の学習段階では、「NO」に「いいえ」をあてはめて考えることも多いので両者は同じ意味の語だと思っている人も少なくない。

しかし、「NO」と「いいえ」の用法をくらべてみるとかなりの[■]が存[■]することがわかってくる。日本語の「いいえ」では、話し相手への配[■]が用法に制約を[■]えていることが多い。

相手の意志や[■]断、たとえばこちらへの[■]いかけに対して、「いいえ私はしたくありません」と応ずることが困難である場合は多い。「NO」と「いいえ」は決して同じではない。

「NO」を使うのは英語の場面である。英語の土[■]にあがって「NO」を[■]使することは、「いいえ」の発想を基本に持つ日本人にとっては当然不利をもたらす。

もちろん、英語的な表現法に熟達した人[■]を作り出すことは不可能ではない。合理的で目的主義に[■]した教育・[■]練はそれを可能にする。

しかし、現[■]の国際交流は、一部の特別の人たちにゆだねて成り立つ時代ではなくなりつつある。大げさに言えば、すべての日本人が外国人との交流に[■]任を持たねばならなくなっている。

すべての日本人が「いいえ」の発想と同時に「NO」の発想をも[■]得・[■]持することは[■]な[■]なことではない。

Bでは、未習の漢字（■）を含む漢字語の数は18語に減り、これは全漢字語数の約20%に当たります。つまりこの文章中の約80%の漢字語は知っていることになるわけです。

Aの段階の人に比べると、Bの段階の人は、知っている漢字語から[■]にどんな漢字が使われているかを^{すいそく}推測（guess）する力もついたのでないでしょうか。次のページに、もとの新聞記事がありますから、あなたの推測が当たっているかどうか、確かめてみてください。

※新聞などを読むときには、知らない漢字があっても、このように^{すいそく}推測して読むことが大切です。

国立国語研究所長 水谷 修



「NO」と「いいえ」の用途をくらべてみるとかなりの差が存在することがわかってくる。日本語の「いいえ」では、話し相手への配慮が用法に制約を与えていることが多い。

相手の意志や判断、たとえどちらへの誘いかけに対して、「いいえはしたくありません」と応ずることが困難である場合は多い。「NO」と「いいえ」は決して同じではない。

「NO」を使つのは英語の場面である。英語の土儀にあがって「NO」を駆使することは、「いいえ」の発想を基本に持つ日本人にとっては当然不利をもたらす。

国際理解—日本からの主張

国際理解は基本的に相互理解をなければならない。公正な判断を相手に求めるためには日本人の考え方や行動の様式をきちんと相手に伝える必要がある。そのためには、理解を求める広報活動とともに、日本語を知り日本文化に近づいてくれる人々を一人でも多く、地球上に増やさなければならないと思う。

「NO」と言える日本人を作り出すことも重要だが、それ以上に日本人が相手を大切にしたいと「いいえ」と言わないやり方を持っているということを強く主張し、周知させる努力を怠ることの方がより現実的である。

「NO」と言えない習慣をかかえながら「NO」と言う努力をいかに尽くしても、相手は使われたい言葉だけに頼り、日本人の言動はあいまいだという判断をする。

すべての日本人が「いいえ」の発想と同時に「NO」の発想をも獲得・維持することは容易なことではない。

しかし、現在の国際交流は一部の特別の人たちによつて成り立つ時代ではなくなりつつある。大げさに言えば、すべての日本人が外国人との交流に責任を持たねばならなくなっている。

もちろん、英語的な表現法に熟達した人材作り出すことは不可能ではない。合理的で目的主義に徹した教育・訓練はそれを可能にする。

私見 直言

日本人は「NO」と言えないということが時々話題になる。国際的な交流の場で日本人が「NO」と言わくまどきに「NO」と言わないことが問題の発端のようだ。

日本人も「NO」と言えるようになるべきだという意見を述べる人が多いが、ことからはそれほど簡単ではない。

英語の「NO」に近い日本語のときには「いいえ」という語がある。英語の初歩の学習段階では「NO」に「いいえ」をあてはめて考えることも多いので両者は同じ意味の語だと思っている人も少なくない。

- 発端(ほったん)
- 述(の)べる
- 差(さ)
- 存在(そんざい)する
- 配慮(はいりよ)
- 与(あた)える
- 判断(はんだん)
- 誘(さそ)いかけ
- 土儀(どひょう)
- 駆使(くし)する
- 人材(じんざい)
- 徹(てっ)した
- 訓練(くんれん)
- 現在(げんざい)
- 責任(せきにん)
- 獲得(かくとく)する
- 維持(いじ)する
- 容易(ようい)な
- 尽(つ)くす
- 相互(そうご)

れんだく
複合語の連濁

「会社(かいしゃ)」のように単独では清音(voiceless sound)で始まることばの前に別の語がついて複合語になるとき、「保険会社(ほけんがいしゃ)」のように後ろの語の頭が濁音(voiced sound)になることを連濁といいます。訓読みのことばの場合、どんなときに連濁が起こるのか、考えてみましょう。

①動詞+動詞→複合動詞 ……連濁しにくい

例：取り^と組^くむ 入れ^い替^かわる 切り^き替^かえる 振り^ふ返^{かえ}る 取り^と返^{かえ}す
取り^と消^けす 飲^のみ込^こむ 飛び^と立^たつ 走^{はし}り去^さる 書^かき足^たす
※例外：寝^ね返^{がえ}る 割^わり引^びく

②名詞(を)+動詞(かな2字以下)→複合名詞 ……連濁しにくい

例：金^{かね}貸^かし 物^{もの}知^しり 魚^{さかな}釣^つり 草^{くさ}刈^かり 鉛^{えん}筆^{びつ}立^たて
※例外：ぶ^ぶどう^{どう}狩^がり あ^あて^て名^な書^がき

③名詞(を)+動詞(かな3字以上)→複合名詞 ……連濁しやすい

例：米^{こめ}作^{づく}り 目^め覚^ざまし 人^{ひと}殺^{ころ}し 金^{かね}遣^{づか}い 気^き遣^{づか}い
※例外：ち^ちから^{から}くら^{くら} 力^{ちから}比^{くら}べ

④名詞(に/で)+動詞→複合名詞 ……連濁しやすい

例：横^{よこ}書^がき 旅^{たび}立^だち 共^{とも}働^ばたら 手^て触^ざり 足^{あし}踏^ぶみ 一^{ひとり}人^が勝^がち

⑤形容詞/動詞/名詞+形容詞→複合形容詞 ……連濁しやすい

例：薄^{うす}暗^{くら}い 寝^ね苦^{ぐる}しい 物^{もの}悲^がしい 息^{いき}苦^{ぐる}しい 悪^{わる}賢^{がし}い 手^て堅^{がた}い
※例外：お^おも^もく^くる^くる^く 重^{おも}苦^くしい 焦^こげ臭^{くさ}い

⑥形容詞+動詞→複合名詞 ……連濁しやすい

例：遅^{おそ}咲^ざき 早^{はや}咲^ざき 長^{なが}話^ばな 早^{はや}死^じに 古^{ふる}漬^づけ

【問題】他にどんな場合があるでしょうか。次の語を読んでみましょう。

- | | |
|-------------|---------------|
| 1. 青白い () | 6. 若作り () |
| 2. 持ち運ぶ () | 7. 山開き () |
| 3. 人助け () | 8. 間近い () |
| 4. 名高い () | 9. 折り返す () |
| 5. 物書き () | 10. 立ち止まる () |